



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月14日

上場会社名 日本ナレッジ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5252 URL <http://www.know-net.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 洋一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼人材本部長 (氏名) 青木 一男 TEL 03-3845-4781  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,996	—	94	—	99	—	66	—
2023年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	48.16	—
2023年3月期第2四半期	—	—

(注) 2023年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,806	947	52.5
2023年3月期	1,803	898	49.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 947百万円 2023年3月期 898百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	12.7	240	18.0	240	25.4	150	9.3	109.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	1,376,000株	2023年3月期	1,376,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	1,376,000株	2023年3月期2Q	1,376,000株

(注) 2023年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の期中平均株式数は記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調となりました。一方で、ウクライナ戦争や米中対立等に伴う原材料価格の高騰や、グローバルでの政策金利調整などを背景とした円安進行や物価上昇による家計や企業への影響もあり、経済状況の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社がサービスを提供するソフトウェア関連市場においては、産業界全体にDX（デジタルトランスフォーメーション）による経営効率化という概念が浸透し、引き続き企業のIT投資意欲が拡大傾向にあることに加え、AIなど先端のIT技術を活用した新たな市場も立ち上がりつつあります。

こうした事業環境の中、当社においては、他社と差別化するための独自性のあるサービス提供に向けた積極的な取り組みや、新たな市場の開拓にも注力し、企業価値の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高1,996,266千円、営業利益94,568千円、経常利益99,546千円、四半期純利益66,267千円となりました。

各セグメントの経営成績につきましては、次のとおりであります。

#### ① 検証事業

当社の検証事業では、ソフトウェア開発の各工程において、テストの設計及び実行から改善提案に至るまで、ソフトウェア品質向上のためのサービスを提供しております。また、同業他社と差別化を図るために継続してテストの自動化を推進したことで、顧客のテスト自動化を受託し、実績をあげることができました。

また、顧客企業へのテスト自動化ツールの導入、自動化に適した開発プロセスの改善、テストプロセスの効率化・生産性の向上を実現する『テスト自動化支援サービス』にも取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間におきましては、『テスト自動化支援サービス』に加え、ソフトウェア開発でのプロダクトセキュリティの開発プロセス構築支援や、アメリカ国立標準技術研究所が定めたセキュリティ基準を示すガイドラインの「NIST SP800-171」の監査支援、最新のISMS 2022年版の更新審査に向けた支援などのコンサルテーションサービスも行っておりまいました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は1,330,287千円、セグメント利益216,236千円と増収増益の結果となりました。

#### ② 開発事業

当社の開発事業では、自社開発パッケージ製品の販売及びカスタマイズ、受託システム開発、セキュリティ関連製品の販売が主な事業内容となっております。

自社開発パッケージ製品の販売及びカスタマイズ、受託システム開発においては、従前より株式会社大塚商会のERP「SMILEシリーズ」の開発及びカスタマイズを中心に行っております。特に鋼材業・木材業向けといたしまして、「SMILEシリーズ」で機能する業種テンプレートを自社開発し、これらの販売・サポートについても、パートナー企業との連携強化に注力し展開してまいりました。インボイス制度の施行直前の需要もあり、前年同期を上回って推移いたしました。

諏訪センターにおいては、複数の大手ベンダー製のERPパッケージ製品の受託開発を手掛けることで、幅広い製品をラインナップすることにより受注の安定につながっております。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は665,979千円、セグメント利益は165,911千円と増収増益の結果となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ3,219千円増加し、1,806,892千円となりました。

当第2四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べ22,155千円減少し、1,464,781千円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少55,549千円、売掛金及び契約資産の増加38,293千円によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ25,375千円増加し、175,702千円となりました。この主な要因は、土地の増加10,272千円、投資有価証券の増加7,022千円、建設仮勘定の増加5,920千円、及び建物の増加4,772千円によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ21,109千円減少し、728,553千円となりました。

この主な要因は、未払法人税等の減少24,179千円、未払金の減少16,428千円、未払消費税等の減少17,564千円、

預り金の増加15,381千円、買掛金の増加13,546千円、及び未払費用の増加12,781千円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ24,726千円減少し、130,560千円となりました。この主な要因は、長期借入金の減少14,406千円、及び社債の減少10,000千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ49,056千円増加し、947,779千円となりました。これは主に利益剰余金の増加45,628千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ58,749千円減少し、799,621千円となりました。第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と各増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は17,609千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益99,546千円を計上しましたことと、法人税等の支払額による減少61,861千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は31,236千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出27,441千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は45,123千円となりました。これは主に、配当金の支払による支出20,584千円、長期借入金の返済による支出11,670千円、社債の償還による支出10,000千円によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月15日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	922,371	866,821
売掛金及び契約資産	519,539	557,833
仕掛品	21,288	4,858
前渡金	8,379	11,753
前払費用	12,060	22,090
その他	3,325	1,461
貸倒引当金	△27	△36
流動資産合計	1,486,937	1,464,781
固定資産		
有形固定資産		
建物	58,438	65,141
減価償却累計額	△24,944	△26,874
建物(純額)	33,494	38,267
車両運搬具	1,204	1,204
減価償却累計額	△134	△335
車両運搬具(純額)	1,069	868
工具、器具及び備品	54,369	60,591
減価償却累計額	△40,325	△43,725
工具、器具及び備品(純額)	14,044	16,865
土地	75,034	85,306
リース資産	31,655	31,655
減価償却累計額	△18,861	△21,441
リース資産(純額)	12,794	10,213
建設仮勘定	—	5,920
有形固定資産合計	136,437	157,442
無形固定資産		
借地権	8,190	8,190
ソフトウェア	868	582
その他	199	193
無形固定資産合計	9,257	8,966
投資その他の資産		
投資有価証券	13,152	20,175
出資金	16,450	16,450
長期前払費用	113	3,013
繰延税金資産	47,638	44,846
その他	93,810	91,342
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	171,040	175,702
固定資産合計	316,735	342,111
資産合計	1,803,672	1,806,892

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	236,535	250,082
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	23,834	26,570
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
リース債務	5,674	5,644
未払金	26,785	10,357
未払費用	67,625	80,406
未払消費税等	58,696	41,132
未払法人税等	66,710	42,530
契約負債	72,591	62,865
賞与引当金	108,217	110,590
預り金	12,992	28,374
流動負債合計	749,662	728,553
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	96,546	82,140
リース債務	9,152	6,312
資産除去債務	17,982	20,971
その他	1,606	1,135
固定負債合計	155,286	130,560
負債合計	904,949	859,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	217,100	217,100
資本剰余金	158,340	158,340
利益剰余金	523,521	569,149
株主資本合計	898,961	944,589
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△239	3,189
評価・換算差額等合計	△239	3,189
純資産合計	898,722	947,779
負債純資産合計	1,803,672	1,806,892

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	1,996,266
売上原価	1,614,118
売上総利益	382,147
販売費及び一般管理費	287,579
営業利益	94,568
営業外収益	
受取利息	4
受取配当金	602
助成金収入	3,414
受取家賃収入	670
太陽光売電収入	304
その他	1,674
営業外収益合計	6,672
営業外費用	
支払利息	431
社債利息	33
支払保証料	244
保険解約損	877
その他	106
営業外費用合計	1,694
経常利益	99,546
税引前四半期純利益	99,546
法人税、住民税及び事業税	32,000
法人税等調整額	1,278
法人税等合計	33,278
四半期純利益	66,267

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	99,546
減価償却費	8,503
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9
受取利息及び受取配当金	△607
支払利息	431
社債利息	33
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,373
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△38,293
棚卸資産の増減額 (△は増加)	16,429
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,546
その他	△22,416
小計	79,556
利息及び配当金の受取額	225
利息の支払額	△309
法人税等の支払額	△61,861
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,609
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の純増減額 (△は増加)	△3,200
有形固定資産の取得による支出	△27,441
無形固定資産の取得による支出	△100
差入保証金の回収による収入	30
投資有価証券の取得による支出	△2,080
保険積立金の積立による支出	△1,190
保険積立金の解約による収入	2,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,236
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△11,670
社債の償還による支出	△10,000
リース債務の返済による支出	△2,868
配当金の支払額	△20,584
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45,123
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△58,749
現金及び現金同等物の期首残高	858,371
現金及び現金同等物の四半期末残高	799,621

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社は2023年9月20日開催の取締役会において、固定資産（建物等）の取得及び資金の借入を決議いたしました。その内容の概要は次の通りです。

## 1. 目的

当社は、成長戦略の一つである人材戦略として、地方の高度人材の発掘・採用・育成を推進しており、これにより獲得した人材を検証及び開発技術者として育成し、事業領域の拡大を図るべく、長野県下諏訪に新諏訪センターを建設することといたしました。

## 2. 内容

新諏訪センター建設工事：（2023年9月21日契約）	350百万円
追加発生工事費用等	32百万円

(注) なお、備品等につきましては選定中（未決定）のため含まれておりません。

## 3. 支払時期及び資金の調達方法

## ①支払時期及び金額

2023年12月28日	127百万円
2024年3月29日	127百万円
2024年7月31日	127百万円

## ②資金の調達方法

長野銀行からの借入金（借入時期未定）	300百万円
自己資金	82百万円

## 4. 固定資産（建物等）の導入時期

竣工予定 2024年7月

稼働予定 2024年9月

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第2四半期累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	検証事業	開発事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,330,287	665,979	1,996,266	-	1,996,266
セグメント間の内部売上高又は振替高	△29,150	29,150	-	-	-
計	1,301,136	695,130	1,996,266	-	1,996,266
セグメント利益	216,236	165,911	382,147	△287,579	94,568

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△287,579千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用287,579千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。